

第4回 鍵屋川柳 応募全句

No.	鍵屋川柳	詠み人
1	鍵屋宿一周回り先頭に	うどん人
2	ドラえもどこでもドアで鍵屋宿	うどん人
3	街中の泥棒嗅ぎ付け鍵屋さん	ギザギザ仮面
4	キーポイントキーケースにキーク!!	ギザギザ仮面
5	鍵屋宿四季の中でも秋(飽き)がない	荘子隆
6	くらわんか君が言うなら喜んで	荘子隆
7	鍵屋宿タイムスリップ叶うかも	タイムトラベラー
8	くらわんか食うてやるで見得を切り	粋者係
9	鍵屋では歴史くろうたうまかった	宗野光政
10	象も見た千本格子京街道	宗野光政
11	鍵屋ではウラに在ってのオモテナシ	見守り隊
12	五六市四六に勝る浦の数 <small>ガマ</small>	ガマの油売り
13	リバイバル鍵屋で知ったサバイバル	大阪のアン
14	くらわんか枚方宿のお昼時	大阪のアン
15	鍵屋にて往時をしのび胡坐かく	春翁
16	クラワンガ-仲間大好きくらわんこ	春翁

No.	鍵屋川柳	詠み人
17	鍵屋さん今の時代の道の駅	月夜の警備員
18	くらい過ぎ今日(京)の予定がくるい過ぎ	月夜の警備員
19	秀吉と家康しのぶ鍵屋宿	詠み人知らず
20	御三家の威風を示す紀州藩	詠み人知らず
21	父と母片寄せ楽しむ五六市	菅野強
22	道草のランドセルの児の京街道	菅野強
23	鍵屋をば市制 <small>ななとせ</small> 七十年復古せし	石寄芳廣
24	鍵屋裏食で栄えし江戸時代	石寄芳廣
25	膝笑うほどに歩いた京街道	黒潮
26	次世代に根づいて芽吹く鍵屋宿	黒潮
27	くらわんか舟より速い人の足	あかごさわ
28	淀川の底に眠りし茶碗あり	あかごさわ
29	また来たい鍵屋の歴史にまた期待	日野江美
30	くらわんか優しい笑顔を灯す宿	日野江美
31	今残る往時を偲ぶ京街道	神奈敏
32	淀川をのんびり下る船の旅	神奈敏

第4回 鍵屋川柳 応募全句

No.	鍵屋川柳	詠み人
33	浴衣着て恋する花火淀の夜	柑橘
34	くらわんかもてなしの文化引き継いで	蒼依華音
35	水面に花があふれて心満ち	徐庸源
36	まま食うかもちくらわんかさあどっち	河内十八代目
37	石松も鍵屋で食って星三つつ	河内十八代目
38	ひらパーの秋は人形春は薔薇	はくろ
39	初デートひらパーの輪に誓ひけり	はくろ
40	淀川は多くを見てる生き字引	配り屋独歩
41	歴史上悲しいことを淀流し	配り屋独歩
42	歴史知るカギやとオトンが指す鍵屋	だいちゃんZ!
43	鍵屋言う風情ぎょうさんくらわんか	だいちゃんZ!
44	「まきかた」と読めば餅飛ぶ「くらわんか！」	ちやか どん 茶唄鼓
45	花火会タマヤ玉屋で鍵屋スネ	ちやか どん 茶唄鼓
46	お喋りをひととき止めてカニの宿	山彦
47	食べ切れる人がいるのか宿の飯	山彦
48	挨拶のあとが続かぬ初対面	アーチャン

No.	鍵屋川柳	詠み人
49	強面も挨拶をする京街道	アーチャン
50	スイーツは宿敵なりやこのお腹	ハッチン
51	宿帳に雅号を書いて満ち足りる	ハッチン
52	くらわんか飯・汁・酒の三刀流	イナバウアーの白兎
53	脈々と鍵屋伝えるおもてなし	イナバウアーの白兎
54	待ちわびるかぎや通信いにしえを	名古屋の山ちゃん
55	青楓の鍵屋のカエル若々し	名古屋の山ちゃん
56	くらわんか尾を引き札の悩ましさ	四迷亭
57	伏見ざけ三十石を酌み交わし	四迷亭
58	京街道歴史をひもとく鍵屋かな？	詠み人知らず
59	太閤も往けば鍵屋に泊りてか	たっち
60	東海道京街道で世次延び	たっち
61	通信使面影宿る本陣跡	正能照也
62	いにしえの栄華を宿す鍵屋宿	正能照也
63	三十石の船旅たのし淀の春	むつむつ
64	五六市街道守る民の意気	むつむつ

第4回 鍵屋川柳 応募全句

No.	鍵屋川柳	詠み人
65	五六市くらいたい物多すぎて	山田佳美
66	水の路役目おえても市をなす	山田佳美
67	淀川の水も香りも京都から	高田博泉
68	格安でまた儲かった五六市	高田博泉
69	インスタと夕日に映えるわが鍵屋	メダカ小娘
70	観覧車鍵屋と映えてインスタに	メダカ小娘
71	枚方の栄えの鍵屋このお宿	たいやき
72	鍵屋には改ざんいらぬ歴史あり	メダカ母ちゃん
73	くらわんかにぎわう舟でわろてんか	メダカ小々娘
74	わが街はそだね鍵屋とひらパーや	メダカ小々娘
75	くらわんかいきな鍵屋のおもてなし	メダカ娘
76	鍵屋でももぐもぐタイムくらわんか	メダカ娘
77	先人の想いをはせる鍵屋宿	メダカ母ちゃん
78	くらわんかなぜか温みのある言葉	フーマー
79	鍵屋浦幾多の夢が泳ぐやら	フーマー
80	うっとこ来て淀でさそわれ今は妻	モテ男

No.	鍵屋川柳	詠み人
81	京の道「二人静」に歩止まる	黄色いサクランボ
82	くらわんかシャレと笑顔で人を止め	ひねた猫
83	ひとひらか覚えておいてこれ鍵屋	ひねた猫
84	京街道昔と今をつないでる	ぷーちゃん
85	宿なのになんで鍵屋と言うんだろう	ぷーちゃん
86	京街道インスタ女子が大はしゃぎ	きいちゃん
87	京街道インスタ映えにもってこい	きいちゃん
88	和と輪と話六十三畳鍵屋宿	中年やまめ
89	インスタに映える歴史が和の食が	中年やまめ
90	京街道古(いにしえ)よりの宝箱	勝井マン
91	旺盛で豪放磊落くらわんか	勝井マン
92	枚方の読み方知らず肘くらう	ストコ
93	くらわんか野暮は娘を食うつもり	ストコ
94	餅売りの声うららに響く淀川に	拓ちゃん
95	くらわんか落語を聞いて腹が鳴る	明拓
96	五六市タイムスリップして虚脱	むさ爺

第4回 鍵屋川柳 応募全句

No.	鍵屋川柳	詠み人
97	ミサガを買って片埜に願懸ける	むさ翁
98	鍵屋浦すし食いねえの大声が	いっちゃん
99	腹いっぱい！もう食らえない五六市	いっちゃん
100	いつまでも鍵屋二階で舟を待つ	大江豊
101	社会科の恩師鍵屋でおもてなし	大江豊
102	京街道鍵屋でちよいとごんぼ汁	都わすれ
103	くらわんか舟が出るまでごんぼ汁	都わすれ
104	五六市今と昔の二刀流	つぼさんご
105	祖父と来た五六の市へ孫を連れ	つぼさんご
106	青い目と宿場撮り行く京街道	京のみっちゃん
107	淀川の風が励ますウォーキング	京のみっちゃん
108	枚方で鍵屋の秘密こじ開けて	噂野アンドゥー
109	淀川やにごりほのかに人の闇	噂野アンドゥー
110	ランラン・ウォーク淀川に感謝	恵阪武夫
111	いこいこぶらり覗きに五六市	恵阪武夫
112	にぎわいと粹取り戻す五六市	PON5

No.	鍵屋川柳	詠み人
113	五六市フードコートにはやがわり	PON5
114	子も育ち鍵屋の宿で夫婦旅	四季
115	京街道ワラジウォークしてみたい	四季
116	^{はたご} や 旅籠屋の間口質素に招きをり	栗月
117	街道の交わる辺り氷旗	栗月
118	クラワンコ菊人形くらわんか	コンちゃん
119	五六市枚方宿鍵屋あり	コンちゃん
120	オリンピック百回分のおもてなし	成本孝宏
121	心安き歴史を伝える枚方宿	りつ子ちゃん
122	枚方の流れを変えた御大尽	りつ子ちゃん
123	鍵屋より枚方の宿生まれけり	えぬごじら
124	玉屋鍵屋今太閤の大花火	えぬごじら
125	あの頃のおかん求めて鍵屋宿	やーくん
126	喜寿だけど叱られに行く鍵屋祝	やーくん
127	鍵屋宿夢の続きの恋うらら	さゆりん
128	ごんぼ汁すすり佳き日を懐しむ	素人

第4回 鍵屋川柳 応募全句

No.	鍵屋川柳	詠み人
129	旅人の心をいやすおもてなし	素人
130	鍵穴を覗けば見える江戸時代	稲葉高飛郎
131	枚方の歴史伝える鍵屋宿	稲葉高飛郎
132	大阪で食い倒れるなど鍵屋雛	金子幸男
133	鍵屋宿心は既に食い倒れ	金子幸男
134	鍵屋へと駅からガイド花吹雪	とりびあの
135	よく笑いよく泣く母は鍵屋好き	とりびあの
136	覚束ぬ初音が渡る鍵屋屋根	サケノミ・クス
137	鍵屋行く孫にはひらパー行くの意味	サケノミ・クス
138	五六市甘辛食べて童心に	詠み人知らず
139	杖ついて京街道時忘れ	詠み人知らず
140	くらわんか弥次さん怒る売り言葉	利っちゃん
141	くらわんかいいねうまいねネーミング	利っちゃん
142	出迎える風の匂いも京都道	アリーマン
143	夢道をたどり着く君と鍵屋宿	アリーマン
144	行ってみて大発見がある鍵屋	関根一雄

No.	鍵屋川柳	詠み人
145	ひとり旅京街道にある出会い	関根一雄
146	淀川に映すなにわの心意気	くうる
147	鍵かけて鍵屋で開くガマの口	くうる
148	くらわんか昭和のかおりふつふつと	ももたん
149	かぎやーとさけんで馳せる鍵屋宿	ももたん
150	そだねえ～！もぐもぐタイムは鍵屋やなあ	し 紫よん